

# 官廳公示事項

## 幼稚園の幼児指導要録について

文部省では別紙寫のように、このたび東京都ほか七府縣と各國立大學の附屬幼稚園に幼児指導要録の意見を求めた。この指導要録はさきに文部省内に設置された幼稚園教育課程幼兒指導要録協議會（本誌二十五年一月號參照）が、一月から現在まで研究をつづけた結果、ようやく成案を得たもので、これをよりよくするため各地方代表都府縣の意見を聞き、さらに研究を重ねて眞に幼兒の成長發達の過程が記録できる指導原簿となるように考えられた措置である。

文初々第二〇五號

昭和二十五年五月二四日

東京都 千葉縣 靜岡縣 福島縣（教育委員會 殿  
大阪府 徳島縣 岡山縣 大分縣）知 事

文部省初等中等教育局長

稻 田 清 助

幼稚園の幼児指導要録について（依頼）

このことについて、かねて本省内に委員會を設けて研究中のところ、このたび別紙の通り一應その原案がまとまりました。

たが、各幼兒の成長發達の經過を全體的、継続的によりよく記録でき幼児指導の原簿として、より適切なものといいたし、いと恩みますので、別紙要領によつて貴管下關係者の御意見を伺いたくここに依頼いたします。

文初々第二〇五號

昭和二十五年五月二五日

附屬幼稚園を置く國立大學長殿

文部省初等中等教育局長

稻 田 清 助

幼稚園の幼児指導要録について（依頼）

このことについて、別紙寫の通り教育委員會及び知事（別紙要領記載の關係都道府縣）に依頼いたしました。貴附屬幼稚園につきましても別紙要領に準じて御意見を伺いたくここに依頼いたします。

# 幼 兒 指 導 要 録 案

園名		園長印	3歳	4歳	5歳	擔任印	3歳	4歳	5歳	
在 籍 状 況										
園 兒 氏 名 ふりがなつき							性別	男・女		
生 年 月 日	昭和 年 月 日 生									
現 住 所							電話			
本 籍 地										
保 護 者 名							續柄			
入 園 年 月 日	昭和 年 月 日						入前園歴			
修了または 轉退園別	昭和 年 月 日						修了・退園・轉			
入 學 學 校 名										
生 育 歴										
生・育 地							主として養育した人			
發 育 状 況										
入 園 前 の										
病 歴										
備 考										
家 庭 の 状 況										
	事項	氏 名	生年月	職 業	學 歴	健康狀況				
家	父(實・繼・養)									
	母(實・繼・養)									
族	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									

その他					
同居人					
生活環境					

**出 缺 状 況**

事項	年 齢				3 歳				4 歳				5 歳			
	學 期	3 歳			4 歳			5 歳								
		1 學期	2 學期	3 學期	計	1 學期	2 學期	3 學期	計	1 學期	2 學期	3 學期	計			
出席日数																
缺席日数																
所 見																

**標 準 検 査 の 記 録**

種別	生活年齢	項 目		検査年月日	名 稱	知能指数は	偏差値	ま 値	検 査 者
		検査年月日	名 稱						
知能検査									

その  
他  
検  
査

**成 長 發 達 の 記 録**

1 身體的生活													
I 發育と運動機能													
事項	年 齢 評 價	3 歳			4 歳			5 歳					
		上	中	下	上	中	下	上	中	下			
1 身 長													
2 體 重													
3 胸 圍													
4 榮 養													
5 からだのつりあい													

6 姿勢			
7 皮膚の色つや			
8 元氣			
9 走るはやさ			
10 文幅とび			
11 けんけんとび			
12 高い所からとぶ			
13 投げる力			
14 ぶら下がる力			
15 引く力			
16 握る力			
II リ病傾向その他			
事項	評価	難 中 易	難 中 易
1 かぜをひきやすい			
2 下痢しやすい			
3 腹痛を起しやすい			
4 鼻汁を出しやすい			
5 目がたれやすい			
6 汗をかきやすい			
7 皮膚が弱い			
8 しみやかになりやすい			
9 おかたれになりやすい			
10			
視力(正常 異常)		聴力(正常・異常)	
う 歯		色盲(無 有)	
ツバルクリン皮膚反応		+	-
眩	1 トラホーム		
	2 とび		
染	3 痰		
	4 百日せき		
病	7 じんこ熱		
	10 流行性耳下せん炎		
健康生活			
事項	評価	上 中 下	上 中 下
1 食慾がある			
2 よくかむ			
3 こぼすずに食べる			
4 ろがいをする			

5 鼻をかむ	_____	_____	_____
6 歯をみがく	_____	_____	_____
7 ひとりで用便する	_____	_____	_____
8 食前に手を洗う	_____	_____	_____
9 排便後に手を洗う	_____	_____	_____
10 外遊びの後に手を洗う	_____	_____	_____
11 顔を洗う	_____	_____	_____
12 衣類は清潔である	_____	_____	_____
13 つめはきつてある	_____	_____	_____
14 耳はきれいである	_____	_____	_____
15 髪はきれいである	_____	_____	_____
16 手足がきれいである	_____	_____	_____
17 厚着でない	_____	_____	_____
18 ヲガバ故障の記録			
<b>2 知的生活</b>			
事項	評価	上 中 下	上 中 下
1 自己の創意、遊び、仕事 をほかにある	_____	_____	_____
2 探究心があがる	_____	_____	_____
3 計画を実行する	_____	_____	_____
4 注意を集中する	_____	_____	_____
5 注意が長く続く	_____	_____	_____
6 絵本に対して興味をもち	_____	_____	_____
7 文字に対して興味をもち	_____	_____	_____
8 数に対して興味をもち	_____	_____	_____
9 話を喜んで聞く	_____	_____	_____
10 人の話をよく理解する	_____	_____	_____
11 人にわかるように話す	_____	_____	_____
12 正しい発音で話す	_____	_____	_____
13 正しい言葉で話す	_____	_____	_____
14 社会的な事から興味をもち	_____	_____	_____
15 植物、動物、自然現象 に興味をもち	_____	_____	_____
16 植物、動物、自然現象 をよく観察する	_____	_____	_____
17 動物や花壇、畑等 の世話と自発的にする	_____	_____	_____

18 音楽を喜んで聞く	_____	_____	_____
19 歌うことを楽しむ	_____	_____	_____
20 らくな声で歌う	_____	_____	_____
21 音程を正しく歌う	_____	_____	_____
22 リズムを正しく歌う	_____	_____	_____
23 うごきのリズムをよく表現する	_____	_____	_____
24 絵を喜んでみる	_____	_____	_____
25 絵を喜んでかく	_____	_____	_____
26 絵の表現内容が豊かである	_____	_____	_____
27 色を選択して絵をかく	_____	_____	_____
28 ひとの絵や製作物を評価する	_____	_____	_____
29 製作を楽しむ	_____	_____	_____
30 絵や製作で適当な材料を自分で選ぶ	_____	_____	_____
31 よく工夫して製作する	_____	_____	_____

### 3 情緒的生活

事項	評価	上 中 下			上 中 下			上 中 下		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 安定感がある		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
2 ユーモアがある		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
3 不合理や不正に對して怒る		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
4 幼なり者や動物植物に愛着をもつ		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
5 同情する		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
6 失敗や失望のあとで気持ちをすくなおす		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
7 いっしょに楽しむようである		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
8 気分が上がりやすくなる		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
9 かみしゃくを起さない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
10 すねない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
11 しつとしない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
12 みえをけらさない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
13 恥をかかれない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
14 おく病でない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
15 恐怖心が強くない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
16 劣等感をもたない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
17 ちやみにいはらない		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

### 4 社会的生計

事項	評価	上 中 下			上 中 下			上 中 下		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 人といっしょに進む		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
2 人にすかれてゐる		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

3 必要の時自己主張ある	_____	_____	_____
4 人の権利を尊重する	_____	_____	_____
5 人の長短を認める	_____	_____	_____
6 人の批評を受け入れる	_____	_____	_____
7 人に協力する	_____	_____	_____
8 人を統率できる	_____	_____	_____
9 人のめんどうを見る	_____	_____	_____
10 自分のことは自分でする	_____	_____	_____
11 生活の守りを守る	_____	_____	_____
12 自分の順番を待つ	_____	_____	_____
13 脱身心がある	_____	_____	_____
14 話し合え納得出来る	_____	_____	_____
15 まちがった時にはあやまる	_____	_____	_____
16 弱み着いじめをしない	_____	_____	_____
17 人をからかわない	_____	_____	_____
18 共同のものを大切にす	_____	_____	_____
19 共同のものを独立しない	_____	_____	_____
20 雷同性がない	_____	_____	_____
21 人の話をよく聞く	_____	_____	_____
22 人の前で誰か坐まる	_____	_____	_____
23 人の前で歌える	_____	_____	_____
24 人の前で二きり歌が出来る	_____	_____	_____
25 ごっこ遊びがよくなる	_____	_____	_____
26 おと石にも遊べる	_____	_____	_____
27 おと石の指示や要請に従う	_____	_____	_____
28 先鋒がいる時攻めを守り	_____	_____	_____
29 依頼心が強くなる	_____	_____	_____
30 必要の時先生に協力を求める	_____	_____	_____
31 言いかねる時どうを云ふ	_____	_____	_____

5 特別に考えなければならぬ事

1. 偏食 2. 毛食 3. おぼ食 4. 舌ばや食 5. 頻尿 6. 吐き 7. 指を噛む 8. 爪を噛む  
 9. 衣類などをかむ 10. 性器をいじる 11. じり 12. 幼児語 13. まね 14. 病的恐怖  
 15. 大人とやく 16. 落着かない 17. おきっぱ 18. おかま 19. 甘ったれ 20. 泣き虫 21. 乱暴  
 22. 破壊癖 23. けんかばや 24. 3つそり 25. 左利き 26. 27

6 総評

3	4	5
_____	_____	_____

## 幼児指導要録調査要領

### I 一般的事項

(1) この調査は、幼児指導要録が、幼児指導の原簿として各幼児の成長發達の經過を全體的、繼續的によりよく記録できるため施行前に全國の各地域代表から意見を聞くこととするものである。

(2) 調査依頼都府縣は、東京都、千葉縣、静岡縣、福島縣、大阪府、徳島縣、岡山縣、大分縣とする。

(3) 調査期限は、六月二十五日までとする、(七月末日までには施行したいと思ひますから期日は厳守すること。)

(4) 調査對象は、關係都府縣において、下記の方法を參照して決定すること、調査人員はおよそ一都府縣二十名から五十名とする。

イ、市町村別、農山漁村別(地域別)

ロ、園長、教諭、助教諭、及び指導主事別(職員別)

ハ、経験年數別

(5) 報告様式は別紙様式による。

報告書を園または地域で作る場合は、その旨を備考に記入して、園の場合は記録者氏名欄に園長名と參加した範圍を、地域の場合は所在市町村名欄に代表市町村名とその範圍を記入すること。

### II 指導要録に関する全般的問題

(1) この指導要録は、幼稚園の幼児の成長發達に関する資料として、轉園または小學校への入学に際してはその轉園先または小學校へ原簿またはその寫を送付する。

(2) 地方ならびに幼稚園は、その特殊性にかんがみ、この指導要録の記入事項に多少の變更もしくは附加をしてもさしつかえない。

(3) 各項目は、かならず記入しなければならないということではなく、その行動等があらわれたとき記入すればよいものとして選定したものである。

(4) 簡単な記入の手引をつける考えである。

(5) 小學校への連けいを考えた。

(6) 用紙はA4判四頁である。

### III 調査上の注意

(1) 意見は、左記の區分によつて伺いたい。なお意見としてでなく參考となる事項や私案があつたら加えてうけたまわりたい。

イ 指導要録全體としての意見

ロ 各項目についての意見

ア 指導要録に加えて價值のない項目(削除した方がよい項目)

イ 項目としてはよいが、表現方法が妥當でない項目

ロ 記入の手引に説明してもらいたい項目

ハ 意見は、できればその理由とそれにかわるべき案について記入願いたい。

(2) 手引の記載例について

別紙の「手引の記載例」は、直接の記入者の最もよき手引とするためにこのたびの調査を基礎として作成する考えで、その一例として一部分を示したものである。



## 手引の記載例

幼児指導要録の手引（豫定頁數A5八頁―一〇頁）

### I. 指導要録の必要性

1 幼児指導と指導の記録 内容省略

2 幼児指導要録の意味 同右

### II 幼児指導要録記入上の注意

1 記録事項の選定標準 内容省略

2 在籍状況 同右

3 生育歴

幼児を理解するためには、その幼児の入園以前の成長と發達の状況を詳細に調査する必要がある。教師は入園當初に家庭と密接な連絡をとつて、その資料を得て、入園後の指導の根據としなければならぬ。

**生育地** 幼児が生活してきた土地は、幼児の發達に影響するところが大きい。幼児の出生地生育地は、調査が可能な範圍で詳細に記録する必要がある。できれば生育地の環境等を記入するとよい。

三歳東京都臺東區淺草（商店街）四歳同豊島區池袋（商店街）

**主として養育した人** 幼児は養育された人の影響をうけることが大きい。できれば詳細に記録することが望ましい。

實母か、繼母か、養母か、或いは母方の祖母に最初養育された後、父方の祖母に養育された等。

**發育狀況** 病氣の状況を除いて發育の経過を具體的に記

録する。

出生の狀況（在胎月數、體重その他）授乳の方法（母乳人口榮養等）離乳期、出齒期、歩行の狀況、言語の狀況その他身體的精神的發達狀況

**入園前の病歴** 幼児の成長發達は病氣によつて左右されることが多いから、できる限り詳細に記録することが望ましい。

この項の病氣の意味は、直接間接に幼児の發育に影響を及ぼした先天的後天的の病氣や故障等で、身體的精神的な指導の上に必要なものを含む。なお傳染病については詳しく調査しておく必要がある。

二歳小兒麻ひにかかり左足不自由、三歳の時三ヶ月間肺炎、難聴、吃音等。

**備考** 入園前の事柄で今後の幼児指導上參考となることや、教師が承知しておかなければならない事項を記録する。

母親が勤めていて、他の人が主として養育したため金銭關係や、性格など相當注意しなければならない點がある。常にひきつけるくせがある。双生兒等。

4 家庭の狀況 内容省略

5 出缺狀況 同右

6 標準検査の記録 同右

7 成長發達の記録

(1) 幼児の成長發達の狀態を觀察する方法は、いろいろな面から考えられるが、次の面から觀察する。

1 身體的生活の面 2 知的生活の面 3 情緒的生活の面

4 社會生活の面 5 特別に注意しなければならない面  
6 全人格としての面

(2) すべて觀察にあつては、その幼児の成長發達の事實、すなわち幼児の生活の中に示される現實の姿を正しくとらえて、客觀的科學的にかつ繼續的に行つて、決して教師の主觀を交えたり、假定を設けたりなどして適切な判定を誤まらないよう留意する。

觀察の結果、判定の困難な場合には、引續いて觀察し自信をもつてからその結果を記録するように努める。

(3) 各項目の記録にあつては、記録としての形式や體裁を整えようとするあまり、無責任の記録や偽つた記録をして、指導要録の本來の使命を忘れてならない。

(4) 觀察や記録にあつては、でき得るかぎり各種研究の方法をとると共に、家庭と密接な連絡をとるようにする。

(5) 評價は、各生活年令の發達段階や個人差を考慮しなければならない。

(6) 品等の三段階は、通常のものの中、それ以上に成長または發達しているものを上、成長または發達のおくれているものすなわち指導上特に注意を必要とするものを下とする。

(7) 觀察や記録や評價にあつては、保育要領の「二、幼児期の發達特質」教育心理の「三、人間はどのようにに發達するか」等を參考とすること。

## イ 身體的生活

身體的生活は 一身體的發育と運動機能の面 二病氣やその他の徵候等についての面 三健康生活に必要な面から觀察する各項目は、醫學的専門的立場に立つた検査をもとにして記

録するものでなく、教師みずからが觀察し、調査して記録できるもので、日々指導していく場合考慮されなければならない事項であつて、いわば指導の手がかりを作つていくためのものである。もちろん各幼児の身體検査票や關齒科醫等の注意を考慮に入れることはいうまでもない。

### a 發育と運動機能

身長 身體検査票を参照して、別表の曲線に従つて發育の状態を判定する。  
胸圍 〔 〕を判定する。

榮 養 よく太つているか、やせているか、筋肉がしまつ

ているかいないか、皮膚の色艶がよいか悪いかで判定する。

よく太り筋肉が締つて血色のよいものを上、肋骨が見え筋肉や脂肪が少なく、血色が悪く皮膚の乾いている者を下とするからだのつりあい からだ全體について、均衡のとれた發達の度あいをその觀點とする。

身長、體重、胸圍、四肢などのつりあいがとれてゐるかどうかによつて判定することが大切であるが、比體重、比身長、比胸圍を用いる方法や、年令別、身長別、體重表〔厚生省〕によつてもよい。

からだ全體がよく均衡のとれている者を上、手足等が特に長いとか短いとか、頭が非常に大きいとか、小さいとか等異常と思われる者を下とする。

姿 勢 歩行や座席などにおける姿勢について判定する。

幼児は姿勢のよしあしで、身體的發育に支障をきたすことが多いから、正しい姿勢ができるように指導することは大切である。評價にあつては、あく迄幼児の正しい生活の場にそ

くした、望ましい活動に應じた姿勢を基準として考え従来のように、いつも静かに胸をはつてきちんとおとなしく、人形のように動かないでいるような姿勢がよいとするような考えはさげなければならぬ。

皮膚の色つや 健康そうな色つやをしているかどうかによつて判定する。

適度に、紅い色を帯び、光澤を持ち、弾力性がある者を上、皮膚が乾き、黒褐色又は青ざめており、弾力性のない者を下とする。

元 氣 活力がありしかも耐久力があつて、いつも快活であるかどうかによつて判定する。

筋肉がしまつていきいきとし、活動に覇氣があつてつかれを見せない者を上、筋肉に生彩がなく常に消極的な行動をとる者を下とする。

情緒的生活の項「いつも楽しそうである」は、この項を精神的な面から観察しようとするものであるから、關連して考察する必要がある。

走るのはやさし—握る力、運動機能の面を觀察する項目である。

四肢や身體がよく動くかどうかを觀察の主眼として判定する幼児期においては、身體の自由、不自由は、生れつきによることが多く、それは運動の場合などの器用不器用となつてあらわれることが非常に多いから、日常注意深く觀察することが必要である。ただし幼児期は興味との關係が非常に多く、興味がある場合は非常にやく走つたりよく投げたりするが興味不起らないときは教師が促がしても行わない者があるから判定する場合に注意しなければならない。

## b

罹病傾向その他

またここでは運動機能の發達の程度を觀察するのであるから他の條件を除外して觀察する必要がある。例えば走るはやさを判定する場合鬼ごつこによつてつかまりにくい者を上と判定しようとしたとすると、その幼児がほんとうにはやくつかまらない場合と、あまりはやくないが動作が機敏でつかまらない場合とがあるが、ともに上の判定をうけることになるしかし後者で上と判定された者の評價は、走るはやさの評価としては適當でないといわなければならない。

幼児は體力も免疫力もともに弱いから病氣の徴候を早く發見して、未然に防止し、不幸にして病氣に犯された場合は、その原因や経過を詳細に調査して、今後の健康生活に支障をきたさないように配慮することを觀點とする。

かぜをひきやすい—あかぎれになりやすい、病氣の徴候とみられる主な事項をあげ、その傾向の多いか少ないかによつて判定する。

視力、聽力、色盲 該當欄を○で圍む。

う 齒 處置齒、未處置齒に區別して本數を記入する。

「ツベルクリン」皮内反應 該當欄を○で圍む。

トラホーム—疫痢 免疫性のない傳染病で幼児のかかり易いものを掲げた。

入園期間中二回ないし三回かかるかも知れないことを豫想して、年令別に欄を設けた。記入はその期間と症状の程度を畫くとよい。

百日せき—風しん 免疫性のあるものと考えられる傳染病で幼児のかかり易いものを掲げた。

記入はかかつた年令とその期間、もしその傳染が原因で心身に異常が起つた場合は、その旨この欄に簡単に記入するとよい。

**健康生活**

健康についてのよい習慣ができるように考慮し指導することは、幼児にとつては大切なことである。この項では主として清潔の状態と健康のよい習慣をつけることを観點として判定する。各項目の判定にあつては、家庭と密接な連絡をとる必要があるが、あまり強調して父兄を神經質にすることがないように注意しなければならない。

ロ 知的生活 内容省略

ハ 情緒的生涯 同右

ニ 社會的生涯 同右

ホ 特別に考えなければならぬこと 同右

ヘ 總評 同右

報告様式例			
幼稚園所在の都道府縣市町村名	幼稚園名	記録者氏名 年 年 年	歳
記録者の職名	總教育経験年數 (内幼稚園経験年數は括弧内に書く)		幼稚園所在の地域環境
1 指導要録全體についての意見			
2 各項目についての意見	項目記入欄		
手引についての意見			
備 考			